

令和7年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22019	事業名	道路新設改良事業(川合9号線)				評価分類	B1	
	事業手法	☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()								
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上			予算科目	会計	01:一般会計		
		基本施策	04:道路の保全・整備				款	08:土木費		
		施策の方向	01:幹線道路の整備				項	02:道路橋梁費		
	重点プロジェクト	-			目	03:道路新設改良費			担当部署	
事業期間	R 5 年度 ~ R 9 年度		主な根拠法令等	道路法、道路構造令				部	建設部	
② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)		事業の対象(誰に、何に対して)		事業の目的(どのような状態にしたいのか)		事業の内容(どのような取組を行うのか)			
	国道306号と市道和田のぼの線を結ぶ幹線道路である市道川合9号線は、交通量が増加傾向である一方、道路幅員は狭小であり、生活の安全性と利便性の向上を図っていく必要がある。		市民及び来訪者		都市拠点の利便性向上及び市街地の円滑な交通処理を行うことにより、市民及び来訪者の安全性と利便性の向上を図る。		国道306号から市道和田のぼの線までの全線の道路拡幅を行う。 (改良区間) ・幅員W=9.5m(2車線道路、片側歩道) ・延長L=1,020m			
③ 事業の実施状況 (P・D)	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	事業計画				○測量設計		○用地測量		○用地買収	
	活動実績 (計画通り実施できたか)				測量業務は計画通りに実施できたが、設計業務については、公安協議に時間を要したこと、また、道路線形の決定により道路を横断する水路を拡幅する必要が生じ業務量が増加したため、やむを得ず翌年度に繰り越した。		昨年度に繰越した設計業務については、順調に業務を完了することができ、用地測量も概ね進捗することができたが、国の交付金について当初予算時で要望額の満額が配分されず補正予算と合わせた配分となり、年度内の完了が見込めなくなったことから、残りの用地測量については、やむを得ず翌年度に繰り越した。		昨年度に繰越した用地測量については、順調に業務を完了することができ、用地交渉も概ね進捗することができたが、国の交付金について当初予算時で要望額の満額が配分されず補正予算と合わせた配分となり、年度内の完了が見込めなくなったことから、用地買収については、やむを得ず翌年度に繰り越した。	
	計画額	事業費			22,000千円	4,766千円	21,000千円	21,175千円	120,400千円	9,427千円
		国・県支出金			11,000千円	2,383千円	10,500千円	10,793千円	59,000千円	2,863千円
		地方債			9,900千円	2,100千円	9,400千円	9,600千円	53,100千円	2,500千円
		その他								0千円
		一般財源			1,100千円	283千円	1,100千円	782千円	8,300千円	4,064千円
	決算額	事業費				4,765千円		21,175千円		8,909千円
		国・県支出金				2,383千円		10,793千円		2,863千円
		地方債				2,100千円		9,600千円		2,500千円
		その他				0千円		0千円		0千円
一般財源					282千円		782千円		3,546千円	
①期間内計画額(R4-7)		163,400千円		②期間外計画額(R8-)		286,600千円		①+②総計画額		450,000千円

(令和7年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	5,727千円
当年度の最終予算額	120,400千円
次年度への繰越額	116,700千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	整備進捗率	実績×構成比率(%)	成果	%	計画値		5	10	38
					実績値		1	6.1	8
					計画値				
					実績値				

⑤ 進捗度 合 (C)	判定	評価理由
	C	昨年度に繰越した用地測量については、順調に業務を完了することができ、用地交渉も概ね進捗することができた。一方、国の交付金の配分状況により補正予算での対応となった用地買収については、年度内完了が見込めなくなったことから、やむを得ず翌年度への繰越を行ったが、事業が進捗したことで安全性と利便性の向上に資することができた。
	あまり進んでいない	

事業の対象	事業の目的
市民及び来訪者	都市拠点の利便性向上及び市街地の円滑な交通処理を行うことにより、市民及び来訪者の安全性と利便性の向上を図る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の進捗度合を踏まえた課題事項
	地域からの早期完成の要望を踏まえ、用地買収を着実に進め事業進捗を図りたいが、要望通りに国交付金の当初予算配分がなされないため、交付金の確保に努める必要がある。

⑦ 事業の 展開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和8年度で対応する(した)もの	令和9年度以降で対応するもの
	三重県等の関係機関と連携し、交付金の確保に努める。また、用地買収が完了した土地について工事を進めるとともに、昨年度に用地測量を実施した土地についても用地交渉及び買収を進める。	用地買収を進めると同時に工事進捗を図る。

【履歴】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
進捗度合		B	B	C
事業展開		継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)

1次評価者	建設部 土木課 道路整備GL 伊藤 貴広
最終評価者	建設部 土木課長 水越 洋光